

第2回 SQUARE PARSEC祭り(〇〇)

6時間耐久レース

日時:2018年6月24日(日) ゲートオープンAM6:00 受付AM7:00~8:00【雨天決行】

場所:グリーンパークスピードウェイ(埼玉県飯能市阿須469-4 TEL 050-3651-1647)

主催:有限会社スクエア(RC-SQUARE)

協賛:決まり次第、随時HPにてお知らせします。

後援:ホットボディーズジャパン、SMART ROgger

協力:グリーンパークスピードウェイ

運営:グリーンパーク耐久実行委員会

開催クラス:LMPクラス、GT3クラス(混走) 1チーム4名以下、ドライバー3名以上

エントリーフィー:1チーム ¥10,000- *レース当日、スクエア製スポンジタイヤの優待販売あり。

***PAESEC-C、SQ050ボディを使用参加チームには特典があるかも?**

申し込みURL:<https://ws.formzu.net/fgen/S46493401/> 締め切り:6月16日24:00

レギュレーション

*雨天決行で行われるレースですので、防水対策、ウエット走行を視野に入れて車作りを行ってください。

*実車ライクなカラーリングを推奨いたします。実在するものに制限はしていませんので、お好みのスポンサーカラーをモチーフにするなどして下さい。(単色ボディは原則禁止です)

LMPクラス: 1/10スケール電動オンロードカーを使用。

ボディは各社から発売されている1/10Cカー又はLMPで、リアウイングが別体の仕様に限る。ABC HOBBY レスポンスGT1、CHEVRON MODELS ダウアーLMP等、リアウイング一体型は不可。TRG製 ロイスボディ、MCSIVボディは使用可能。全高は105mm以下。ウイングコードは別途定める。

GT3クラス: 1/10スケール電動オンロードカーを使用。駆動方式は4輪駆動または後輪駆動。

ボディは別途定める公認ボディを使用。但し、公認ボディリストに無く実車GT3相当のボディは事前にグリーンパーク耐久実行委員会より承認を得れば使用可能。ウイングコードは別途定める。

クラス共通ルール

計測: AMB製ポンダー(RC4可)を各チームで用意。貸し出しポンダーの用意はありません。

モーター: ブラシ、ブラシレス問わず540サイズモーターを使用する。

ESC: 市販のESCのみ使用可能。バック走行設定可能です。

タイヤ: 1/10用オンロードタイヤを使用、素材はゴム・スポンジ問わず。

バッテリー: ハードケースに入った物でサイズは問わず、以下の5ケースより選択使用。

ケース	種類	タイプ	容量	上限本数	充電電流	カット電圧	クイックチェンジ
I	2セルLIPO	40C以上の場合	3,600mAh以下	3本	1.5C	4.2V/セル	不可
II		40C未満の場合	4,000mAh以下				
III	1セルLIPO		7,200mAh以下				
IV	2セルLiFe		4,200mAh以下	4本	4C	3.6V/セル	可能
V	LF2200相当		2,200mAh以下				

*上記のケースを混在使用は不可。但し、同一ケース内の規定容量以下での容量の混在は可能。

*HVセルの使用可。但し、カット電圧は上表の通り。

充電器: 決勝レーススタート後に使用出来る走行用充電器は1台(マルチチャージャーの場合は1系統のみ)、同時に充電出来る本数は1本。

プロポ、予備電源等などに使用する充電器は別途使用可。但し、動力用とは必ず分ける事。

ライト: フロントヘッドライト、テールライトは各々1対以上点灯。

ナイトセッションおよびウエットレース時は点灯義務化、不灯火時は走行禁止。

LMPクラス特別ルール: スタート後、2時間毎にタイヤ交換義務化。前後輪を最低1輪ずつ交換。

交換に当たっては手回し工具に限る。(手回しでもギヤー等を介して回転させる物は禁止)

その他詳細、お問い合わせはFB上のグループ「GPSW 耐久」

またはGPSW内のHB-JAPANショップまで。(090-1470-4879)

GT3【公認ボディリスト】

1	HPI	7373	ダッチバイパー SRT10	190mm幅
2		7473	ダッチバイパー SRT10	200mm幅
3		7495	フォードGT	
4		17503	シボレーコルベットC6	
5		17538	日産GT-R	
6		17541	ポルシェ911GT3RS	
7		17543	シボレーカマロGT	
8		17544	アルファロメオ C8	
9		17548	BMW M3GT2	
10		108370	ポルシェ GT3RSR	
11	KYOSHO	612043B	Lexus LFA (PF 1531-30)	200mm幅
12		39297	アストンマーチンDB9	
13		VZB01	シボレーコルベット C6R	
14		39283	フェラーリF430	
15		VZB013	ポルシェ911GT3RSR	
16		39212	AUDI R8 LMS	
17	Tamiya		アウディR8	約190mm幅
18			BMW M3 GT2	
19			ランボルギーニ ガヤルド	
20			日産GT-R GT3	
21			ポルシェ911 GT3Cup	
22			メルセデスベンツ SLS GT3	
23			BMW Z4	
24		SP.1526	Ferrari 458 Challenge	
25	PANDRA	PAB-036	LEXUS LF-A	約200mm幅
26		PAB-032	Nissan GT-R	

*上記ボディの入手が困難な為、以下のボディを追加公認します。
 また、「これはどう？」と言うボディが在りましたらお問い合わせください。
 実車形状を大きく損ねていないボディは公認していきたいと思えます。
 追加公認 (2016/09/15JGT-TOUR追加公認発表)

27	PROTOForm	1549-30	Ford GT	200mm幅
28			Ford GT	190mm幅
		1548-30	キャデラックATS-VR	200mm幅
29	KAWADA	KD60		200mm幅

使用できるリアウイングのサイズと測定方法

リアウイングコード【LMP】【GT3】共通

ウイングのコード計測は、ウイング最高点—最下点が20mm以下とします。
 特殊な測り方なのでご注意願います。
 但し、サイドダムは計測対象になりませんし、サイズの規制もありません。
 カッコイイ形状の物を左右1枚ずつウイングに直接貼りつける事。

リアウイング高さ 【LMP】地上高105mm以下 (全高も105mm以下)
 【GT3】ウイングはルーフ高を超えない高さまで。(全高規定無し)

オーバーハング オーバーハングに規制はありませんので、後ろにせり出しても構いません。

